

発言No. 17

受付No. 17

令和6年2月15日

10時27分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16 番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、地域の自治活動の推進態勢について

①社会福祉協議会への加入に地域によって差があるが、行政が行う地域福祉活動を社会福祉協議会が担っていることを認識し、協働のまちづくり推進に盛り込み、それを地域に市民に発信することが重要であるが、市民の理解を得て社会福祉協議会の基盤を確立するためにも、加入を促進する必要があるのではないか。

②地域の安全安心づくり、防災や避難なども地域の自治活動によるところが大きいですが、災害情報の受信・発信、避難所の開設、避難の呼びかけなどについて、それを地域で担う主体を明確にし、そのことを地域で徹底、共有されることが重要であり、市として市災害対策本部としてどのように発信し、地域が動けるようにするのか。

2、市民の健康増進に向けた施策の推進について

①浜田市の国民健康保険の特定検診の受診率はどう推移しているのか、受診率は向上しているのか。向上していないとすればどのような課題があると認識しているのか。

②特定保健指導の終了率について、特定健診で再検査や特別の指導が必要と診断された人の、それが終わった人の割合はどのように推移しているのか。終了率が他市に比べ低いとすれば、それをどう評価検証しているのか。

3、高齢者の自立を進める介護サービスの充実について

①訪問入浴介護サービスが存続されるが、廃止とされた理由は、介護に従事する人材不足とされていたが、4月以降はどのような体制で臨み、これまで利用を希望する人が利用できなかった実態もあったが、どのように改善するのか。

②通所リハビリと買い物サービスとを組み合わせ、介護サービスの充実と買い物支援を検討されているが、この取組みに対して市としてどのように支援し、保険者が認可を受けることに結びつけるのか。

③総合事業では介護ボランティア、有償ボランティアを受け入れるよう制度設計されているが、介護ボランティアの充足とボランティア活動につなげるなど、市としてどのように取り組み、介護ボランティア制度の充実を図っているのか、介護ボランティアの現状はどのようになっているのか。

4、高校など魅力化による地域元気づくりの施策について

①高校の寮の整備が進められているが、その進捗状況はどうか。6年度の入寮者などはどのように見込んでいるのか。

②これは、WBC全日本コーチの清水雅治さんの野球指導、オープンスクールによるところが大きいですが、野球以外にもカリスマ指導者による吹奏楽指導の活動もあり、これらに加え新たな事を加え、さらに高校の魅力化を導き出す、このような不断の取り組みが何より重要であるが、専修学校なども含めた学校の魅力化にどう取り組むのか。

5、新しい施策の推進態勢について

①JR便数の確保、バス路線の維持、市民バス、自治会輸送、スクールバス、乗り合いタクシー、あいのりタクシーなど多岐にわたる課題が山積しており、加えてライドシェアの動き、自動運転のシステムなど新たな課題に対処するため、交通対策のための新たな部署を設置し、交通問題を先取りする施策を進める、そのための態勢づくりが必要ではないか。

②マニフェスト大賞を受賞され市役所の政策立案力、新たな提案を受け入れる態勢が待たれるが、そこで企業などと連携協定を結んでいる事例はどのくらいあって、連携協定締結により市政推進に寄与した具体的な事例はあるのか、この制度をどのように評価しているのか。